

## あ と が き

広島社会科は、創設以来一貫して、「学ぶことが楽しい」「意欲的に学ぶ」「活動や体験を楽しむ」「ふりかえり、工夫する」「かかわりを大切にする」というような子どもたちの姿を目指してきました。そして、「学ぶ喜びがあり、考え、地域の事象や人物の姿から学ぶ社会科」の実践研究を積み重ね、その成果を全国に発信し続けてきました。

また、これまで変わらず大切にしてきたことは「国際平和文化都市広島」に生まれ育った子どもたちが大人になる十年後、二十年後の社会を輝いて生きていくための力、「国際平和文化創造力」の育成を目指してきたことです。こうした背景を基盤として継続的に研究実践を積み重ねてきたことを、今回、第4回目の全国大会で広島から全国に発信させていただきます。

研究主題をこれまでの広島社会科のあゆみ、現在の社会情勢、これからの社会を生きていく上で求められるもの、子どもたちの実態、旧研究主題のもとでの社会科実践上の課題等を総合的に鑑みながら「社会を見つめ、未来を問いつける社会科教育の創造—学習意欲の向上をめざした思考力・判断力・表現力の育成—」と設定しました。

変化の激しい社会に対応していく子どもたちを育てるためには、今一度、不易である基本に立ち返り、社会認識の形成を通して、公民的資質の育成を図る教科である社会科の本質にせまる研究に取り組むべきであると考えました。社会科を専門教科とする教師にとっても、「教科書を読み取るのが社会科だ」としている教師にとっても、「これぞ社会科」と納得いく授業を創造していきたい。今回の研究主題の設定は、これまで諸先輩方が築き上げてきた「広島社会科」を継承しつつ、社会認識を形成するとは、公民的資質を育成するとはどういうことなのか、そして、どうすればよいのかを探る実践研究を進めるために提起するものです。

この研究主題の実現を目指し、これからの社会科授業実践の指針になればと思い、新たに「社会科研究のてびき」を作成しました。地域密着型の地域教材、今日的な課題を解決していこうとする人々の問題解決の姿を教材化していきます。そして、学習過程を「であう」「ふかめる」「いかす」の三段階とし、社会的認識をしっかりと育て、より実践的な力を育てていきます。

本てびきの作成にあたっては、平成22年度より、定期的に研究部会を持ち、研究主題の再検討から始め、協議を重ねてきました。社会科初心者に分かりやすく、ベテランには奥の深い「社会科研究のてびき」になればと思い作成しました。広島社会科部会員の叡智が込められた「社会科研究のてびき」です。これからの社会科の授業づくりにきっと役立つものと確信しています。大いに活用していただき、忌憚のない御意見を賜り、今後の研究に生かしていきたいと考えています。

平成27年3月

広島市小学校教育研究会社会科部会研究部